

一消費組合運動
促進に關する件

説明 (深川交辨提出) 関戸 繁 藏

資本主義経済社会の一因に於て常に吾等の生活を圧迫し困窮に陥入らしめつゝあるものに商人階級なるものがある。然も彼等は全然消費者の生活内に寄生する所謂中間搾取階級であつて此の層大なる階級の存在に依る消費者の受くる苦痛は其の店舗の無敵と堂々たる事實が最も雄飛に之を物語つてある。消費着う手に渡る前の過程を十数試に一箇の商品が生産者の手より消費者の手に渡る亦政策的引取と香貝師的かけの回屋仲買卸賣小商人の存在を亦政策的引取と如何に莫大である引算々其の利潤保持者と消費者の貧困との關係は如何に莫大であるかは實に思い半に過するものがある。是れが主産資本への闘争のみか然も我國に於ける社会運動は今日迄その能が主産資本への闘争のみか主唱する商人階級が主役者か従者かあることには云ふまでもないことであらうが、假に我々が生産資本との闘争に依つて獲得した有利条件も商業資本の搾取に依つて是れ勸業同権感のなかりける事實に鑑みて

我等中産階級生産者より消費への運動に依つて是れ中産階級を代表するものにより今日の生活の苦痛が相當に補はれる事實を見たりである。即ち消費者の團結は依る協同の理想と共、公道徳と非科学的支配による社会組織の改造を促進する所以であることとを信する。

一 本組合は支那聯合会日本労働者聯合会加盟の反組組合に本業を起す一協同組合であること。

二 同時に同一地方に於ける一級、無産階級に極力宣傳して加入の方法を指導すること。

三 組織は成るべく中産階級を以て中心とし、労働者、無産階級、その他は本組合に加入せしむる。